

元気発信！花見川

第 20 号



千葉市議会議員（花見川区）

だんぎ 和彦

千葉市長選挙応援演説・クリスタルドーム前で



千葉市長選挙において熊谷市長再選、2期目へ！



平成 25 年 5 月 26 日（日）投開票となりました千葉市長選挙は、175,126 票を獲得した熊谷市長が再選、2 期目に向けて千葉市政を担うこととなりました。

4 年前、千葉市では戦後初の民間出身の市長として、また全国 20 の政令指定都市で最年少の市長として誕生した熊谷市長ですが、この 4 年間、1 兆円を超える市債残高という負の遺産を抱えながらも、果敢に行政改革に取り組んで来ました。

これからの 4 年間は、熊谷市長自身も記者会見で述べられたように、財政再建の道筋をつけ、市民参加型の「市民協働のまちづくり、超高齢化時代の中でも、子育て・経済・医療

等の充実を期し、地域で生き続けられる「安心・安全のまちづくり」の実現に向けて、突き進んでいきたいと思ひますし、私どもも検証・協力をしっかりしていく所存です。

市民の皆様と共に、「緑豊かで海の景色が思い浮かび、多くの人が住んでみたい、行ってみたいと思える千葉市をつくっていききたい。」とのまちづくりを進めていきましょう。

千葉市のこれから

千葉市の 10 年後、20 年後、さらにその先の千葉市はどのような都市になっているのでしょうか？私は千葉市で生まれ、千葉市で育てていただき、現在も千葉市に住み続けており、「ふるさと千葉」を大切に思ひますし、千葉市に住む方々にもそのように思ひていただきたいと考えます。

千葉市の未来を守りたい、それは私が議員として頑張ろうと思ひた中のひとつの気持ちで、熊谷市長の挙げる「未来に負担を残さない」考えと同じです。現在、千葉市の借金である市債残高は、戦後初めて減少に転じたとは言え、将来負担比率等は高い水準で移行しており、平成 27 年度から平成 29 年度にかけて、借金返済のピークと言われていひます。ぜひここを乗り越って次の飛躍につなげるべく、踏ん張りどころと考えます。

千葉市のこれから、千葉市の未来へ、オール千葉で、そして市民の皆様と一丸となつて、取り組んで参る所存です。

